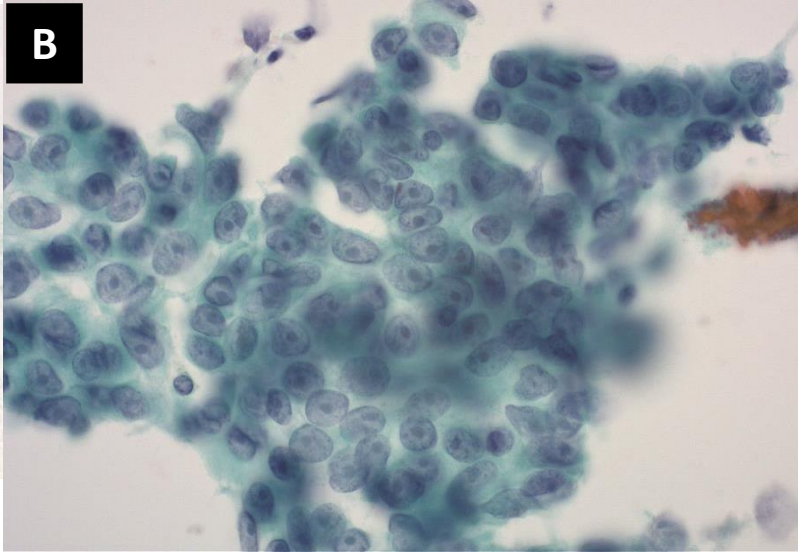


呼吸器症例① 70代男性

(A:喀痰) (B:気管支擦過) 同一症例

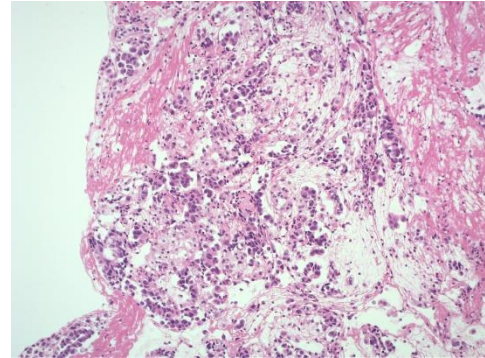


細胞所見：

- ・ 泡沫状細胞質、細顆粒状クロマチン、明瞭な核小体を有する腺様配列、核の切れ込み

細胞診断：Adenocarcinoma（腺癌）

生検診断：Adenocarcinoma（腺癌）



ポイント

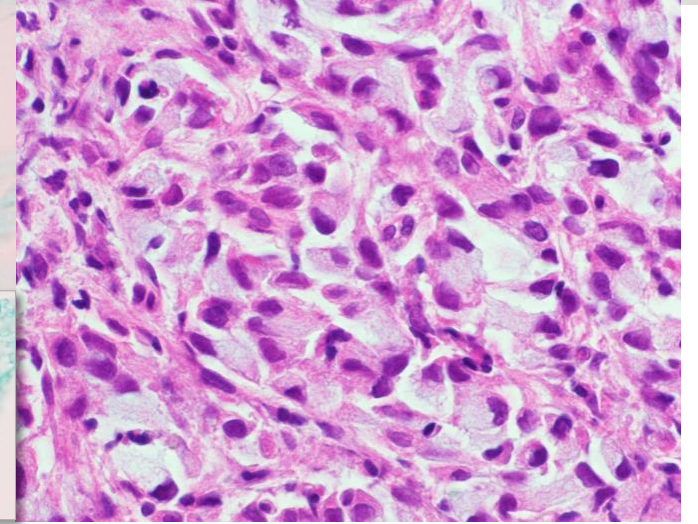
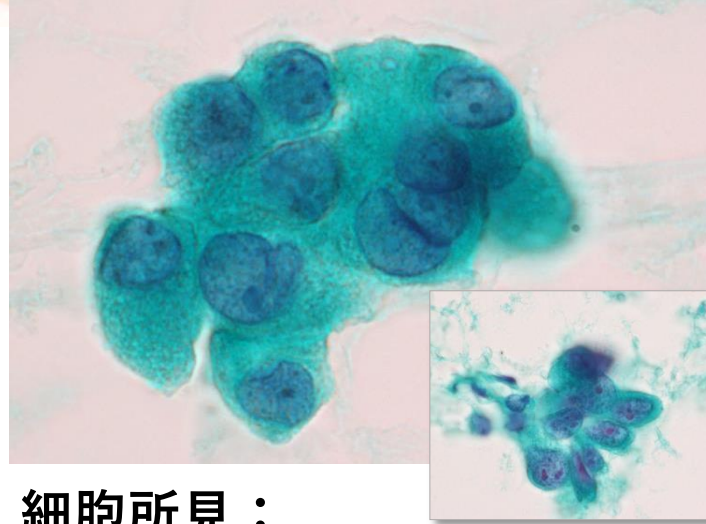
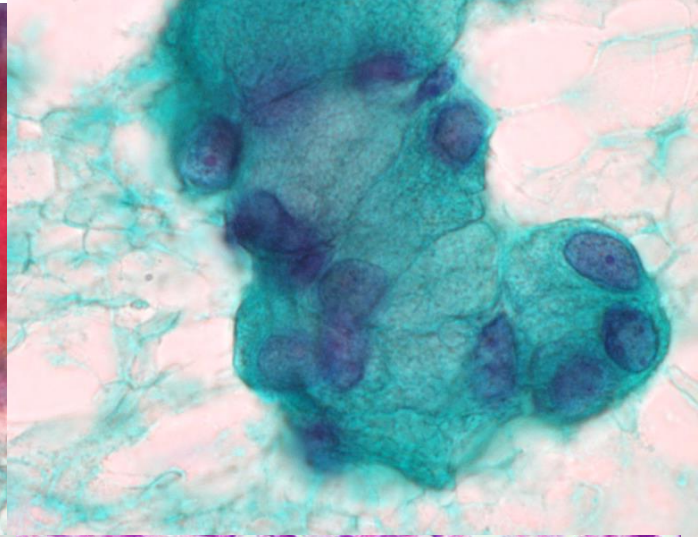
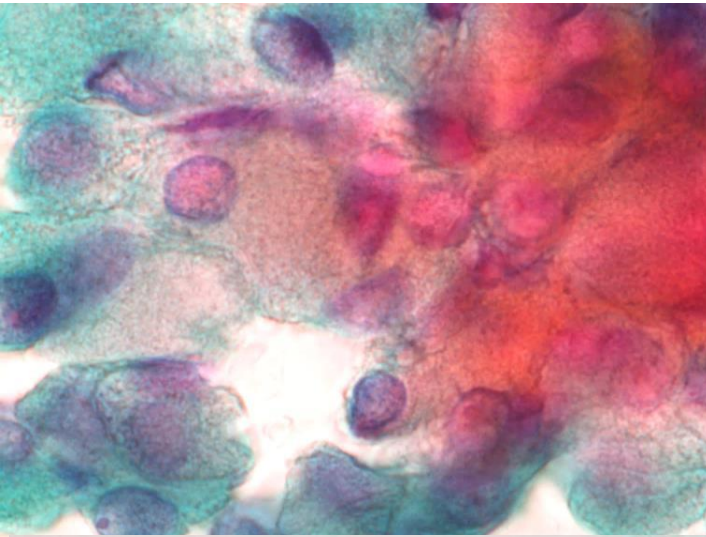
【喀痰における腺癌の細胞型の解説】

- ・ 立体的重積性集塊あるいは腺様配列を呈し、核間距離は不均等
- ・ 類円形細胞が多く、細胞質は淡明で泡沫状を呈して、淡青緑に染まり、ときに細胞質内粘液や大型不染空胞がみられる
- ・ 核の位置は偏在性が多く、核縁は円滑明瞭で肥厚を示す
- ・ クロマチンは細網状ないし細顆粒状で、不均等に、やや疎に分布する
- ・ 核小体は大型円形で1ないし2個のものが多く、しばしばエオジン好染を呈する

標本上の一部に乳頭状集塊、微小乳頭状構造、シート状集塊、腺腔様構造、円柱状細胞の柵状配列、印環細胞様形態がみられる場合は、腺癌を推定する重要な構造あるいは所見のため付記するのが望ましい

肺癌取り扱い規約第8版

呼吸器症例②（気管支擦過）

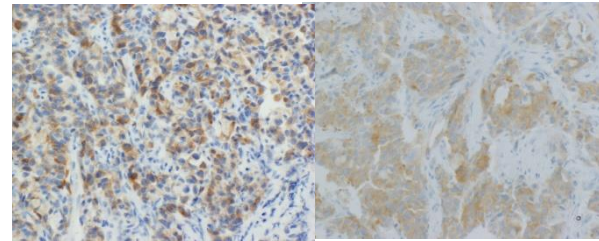


細胞所見：

- ・印環細胞様の細胞質内粘液Pap染色では細胞質がライトG好染性で、粘液は黄金調もしくは無染色・明瞭な核小体
- ・切れ込みを有する核の立体不整

細胞診断：Adenocarcinoma（腺癌）

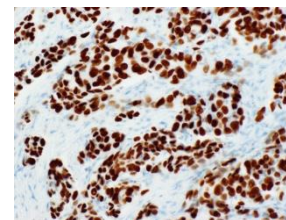
最終診断：ALK融合遺伝子肺癌



ALK(+)

ポイント【ALK融合遺伝子肺癌の細胞像】

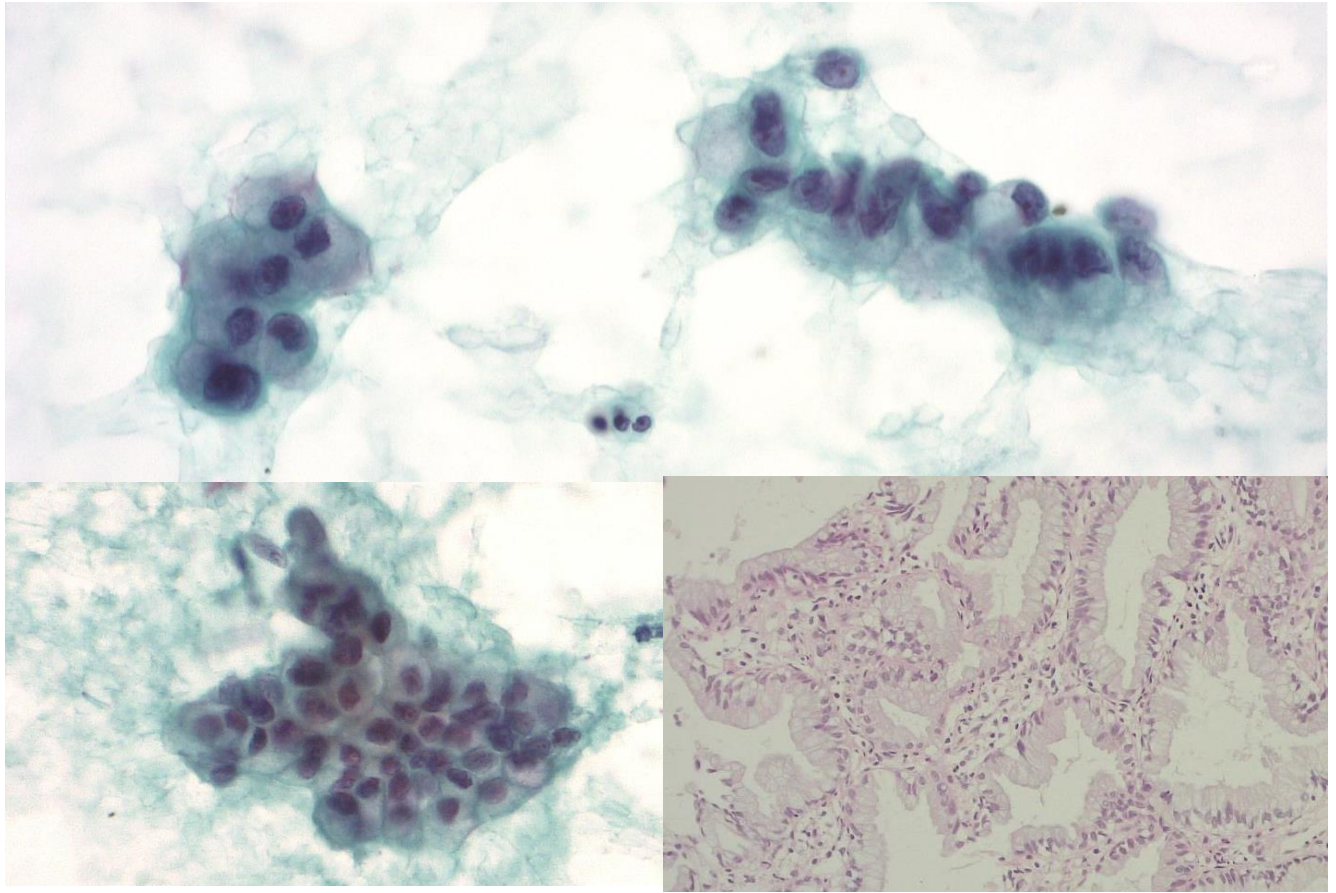
- ・核小体（単個の明瞭核小体）
- ・核の立体不整
- ・細胞質内粘液（印環細胞）
- ・石灰化小体



TTF-1(+)

印環細胞はTTF-1陽性でALKやROS-1融合遺伝子腺癌の可能性がある

呼吸器症例③ 70代男性（気管支擦過）



細胞所見：

- ・ 亀甲状や蜂の巣状を示す集塊の出現
- ・ 高円柱状の細胞、明瞭な細胞質境界、細胞質内粘液

細胞診断：Adenocarcinoma（腺癌）

生検診断：Adenocarcinoma（腺癌）

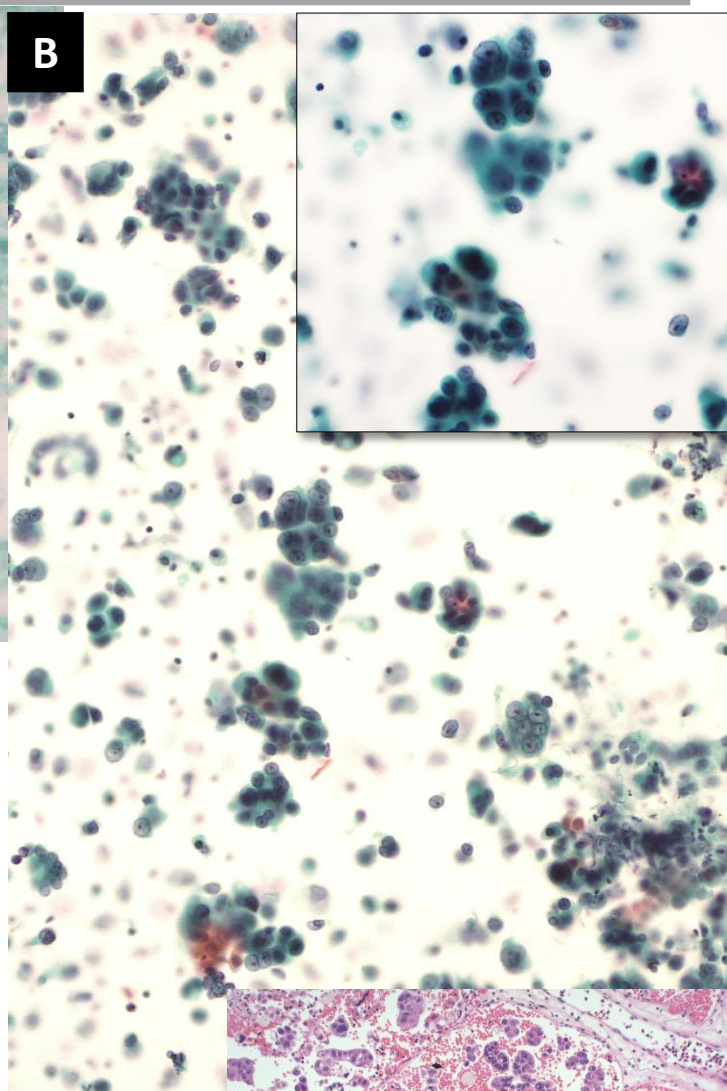
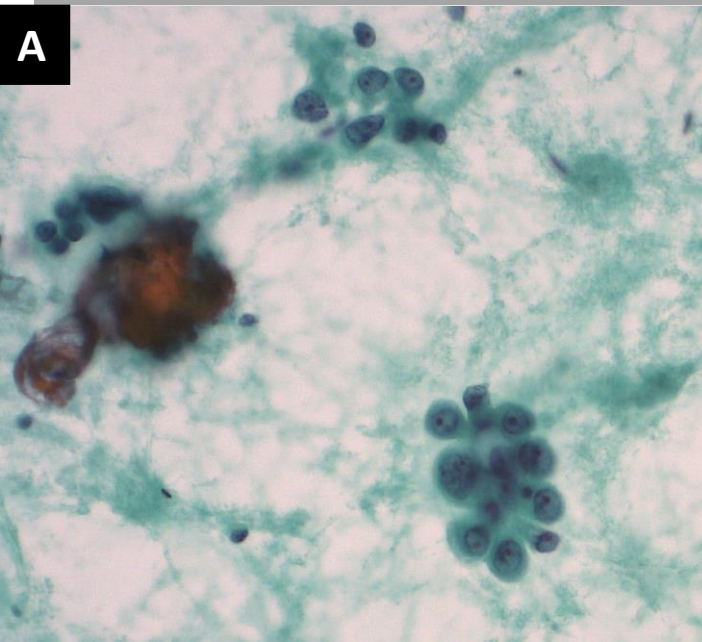
特殊型 粘液性腺癌 mucinous adenocarcinoma

ポイント

【定義】 高円柱状で豊富な細胞質粘液を有する、気管支上皮の杯細胞に類似する腫瘍細胞から構成される腺癌

- ・ 核は小型で、粘液球の存在により基底部に位置
- ・ 核異型は通常目立たない
- ・ TTF-1陰性、*KRAS*変異が多いなど通常型腺癌とは異なる特徴を持つ
- ・ 通常型腺癌でも種々の程度粘液を持つが、浸潤性粘液癌ではPap染色では黄金色を呈する（本症例ではあまり目立たない）

呼吸器症例④（気管支擦過） 2症例



細胞所見：

- ・構成細胞数が3-20個程度で、立体的で結合性の強い、花冠状ないし球状～桑実状の小集塊の出現
- ・個々の細胞は小型単調

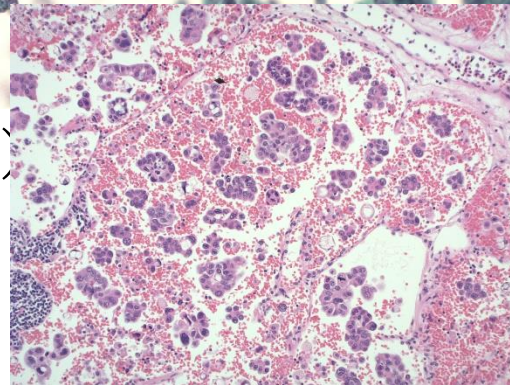
A & B細胞診断：Adenocarcinoma（腺癌）

**A 生検診断：Adenocarcinoma（腺癌）
Micropapillary patternを伴う**

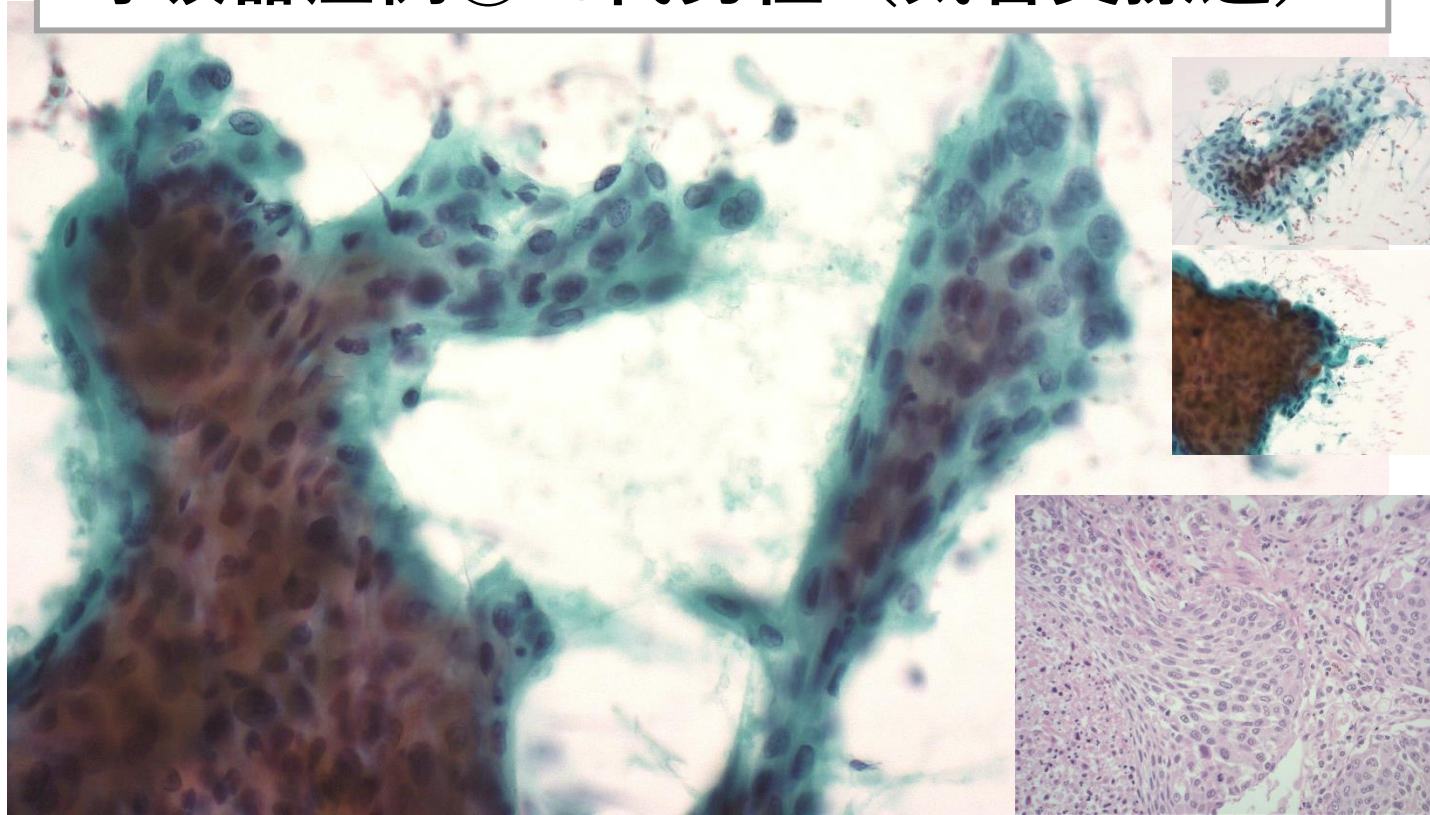
B 最終診断：Micropapillary adenocarcinoma

ポイント

- ・細胞像では微小乳頭状集塊（micropapillary cluster:MPC）として出現する
- ・小型単調な腫瘍細胞からなる花冠状ないし球状の小型集塊が多数出現し、推定可能



呼吸器症例⑤70代男性（気管支擦過）



細胞所見：

- ・細胞配列として、シート状、楕円核の悪性細胞が長軸方向に沿って、一定方向に流れるような集塊として出現、集塊辺縁の核の扁平化・同心円状層構造がみられる
- ・不整な細胞集塊の辺縁（毛羽立ち）を示す集塊

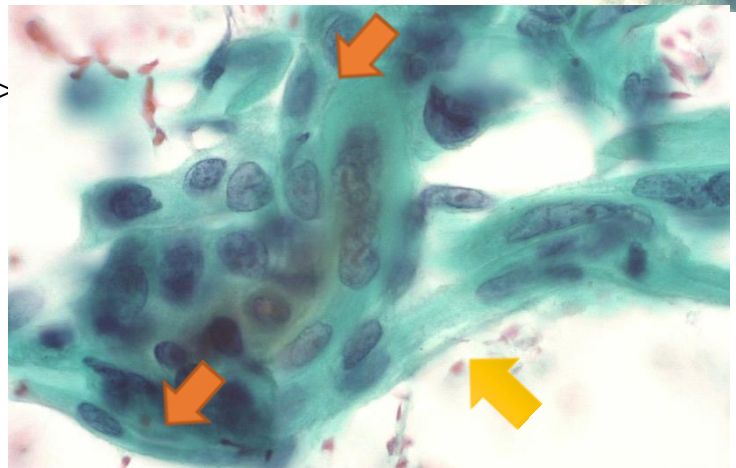
細胞診断：Squamous cell carcinoma(扁平上皮癌)

最終診断：Squamous cell carcinoma,
non-keratinizing type

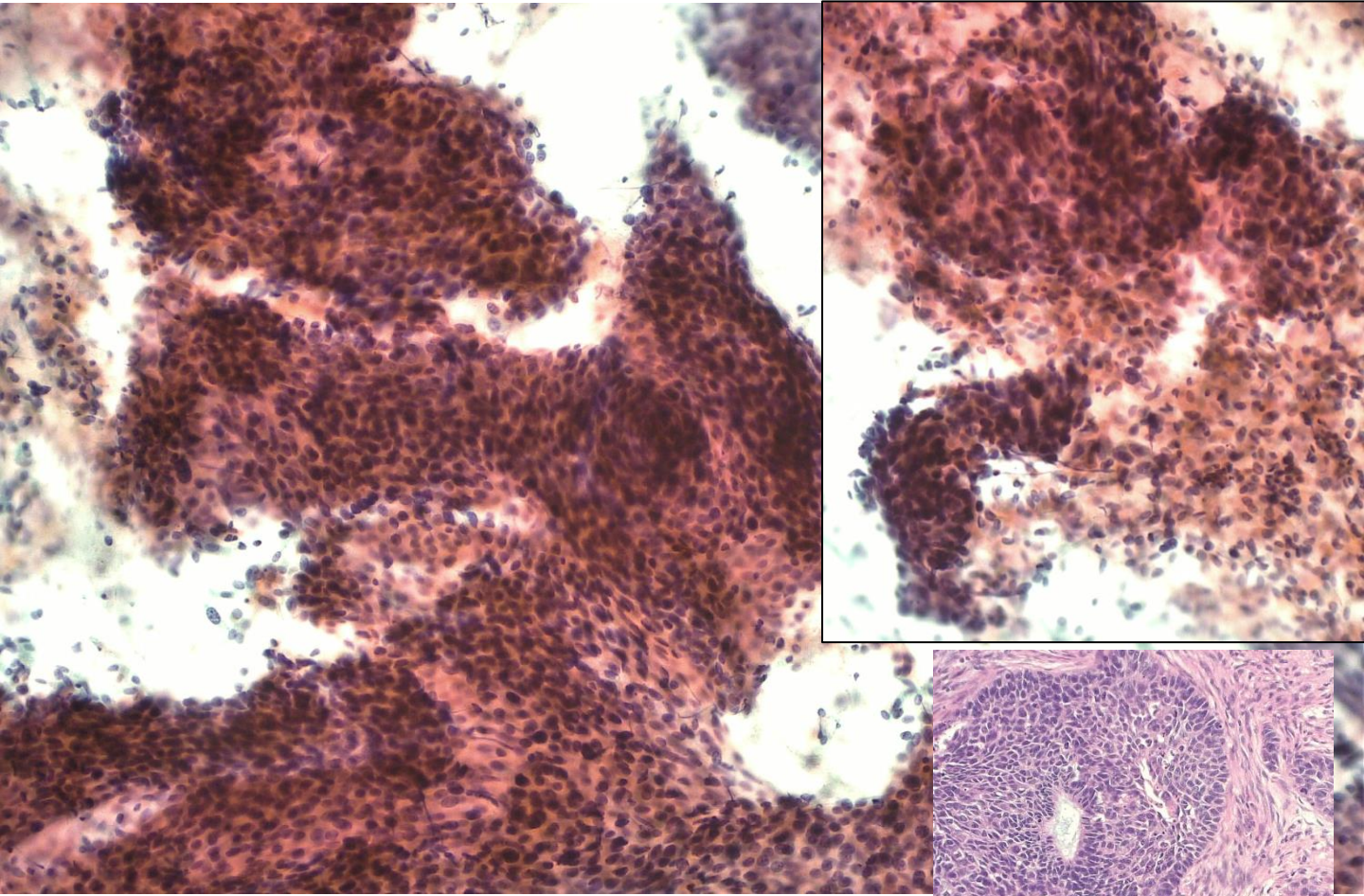
ポイント

<扁平上皮癌の特征的細胞像>

- ・流れ様配列
- ・レール状の二本線 →
- ・細線維状の尾 →
- ・密な粗顆粒状クロマチン



呼吸器症例⑥80代女性（気管支擦過）



細胞所見：

- ・ 個々の細胞は比較的小型、単調、立方状あるいは紡錘形を示す
- ・ 小型でN/C比の高い細胞
- ・ 核の相互圧排像はみられない

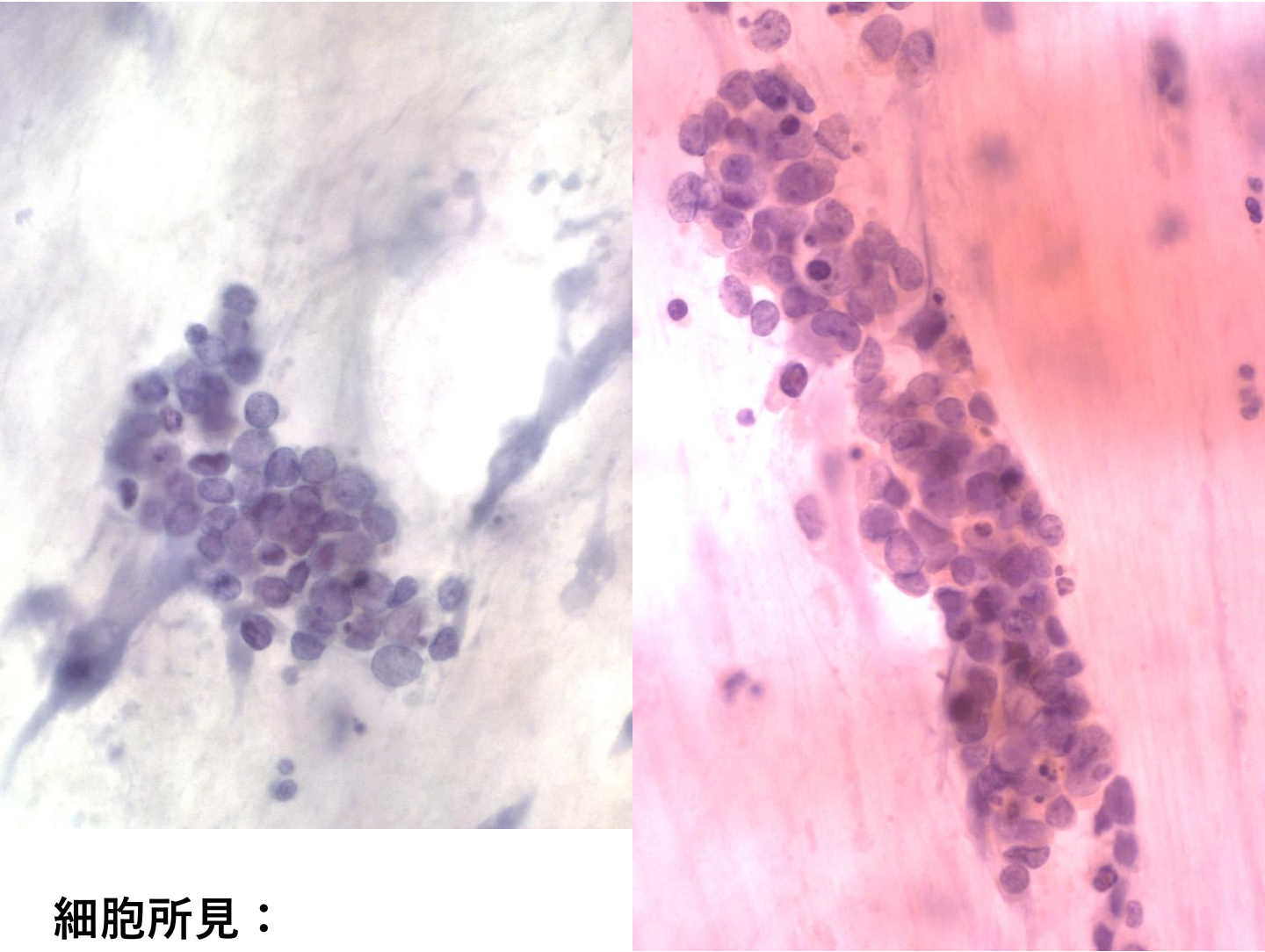
細胞診断：Squamous cell carcinoma(扁平上皮癌)
(非角化型or類基底型疑い)

最終診断：basaloid squamous cell carcinoma

ポイント ・ 小細胞癌やLCNECとの鑑別が難しいことがある
・ 1/3でロゼット様構造・分裂像多く壊死あることも

【定義】 純型では小型細胞が小葉状に増殖し、胞巣周辺で核の柵状配列を示す低分化な悪性上皮性腫瘍 明らかな角化を欠くが、扁平上皮マーカーが陽性。角化あるいは非角化型扁平上皮癌の成分を伴うことがあるが、類基底細胞成分が50%を超えるものは類基底細胞型扁平上皮癌と分類される

呼吸器症例⑦70代男性（喀痰）



細胞所見：

- ・ 大小不同のある小型の細胞が緩く結合してシート状に配列する
- ・ 腫瘍細胞の大きさは成熟リンパ球より大きい
- ・ 隣接する細胞が相互に鋳型状に接する所見を認める

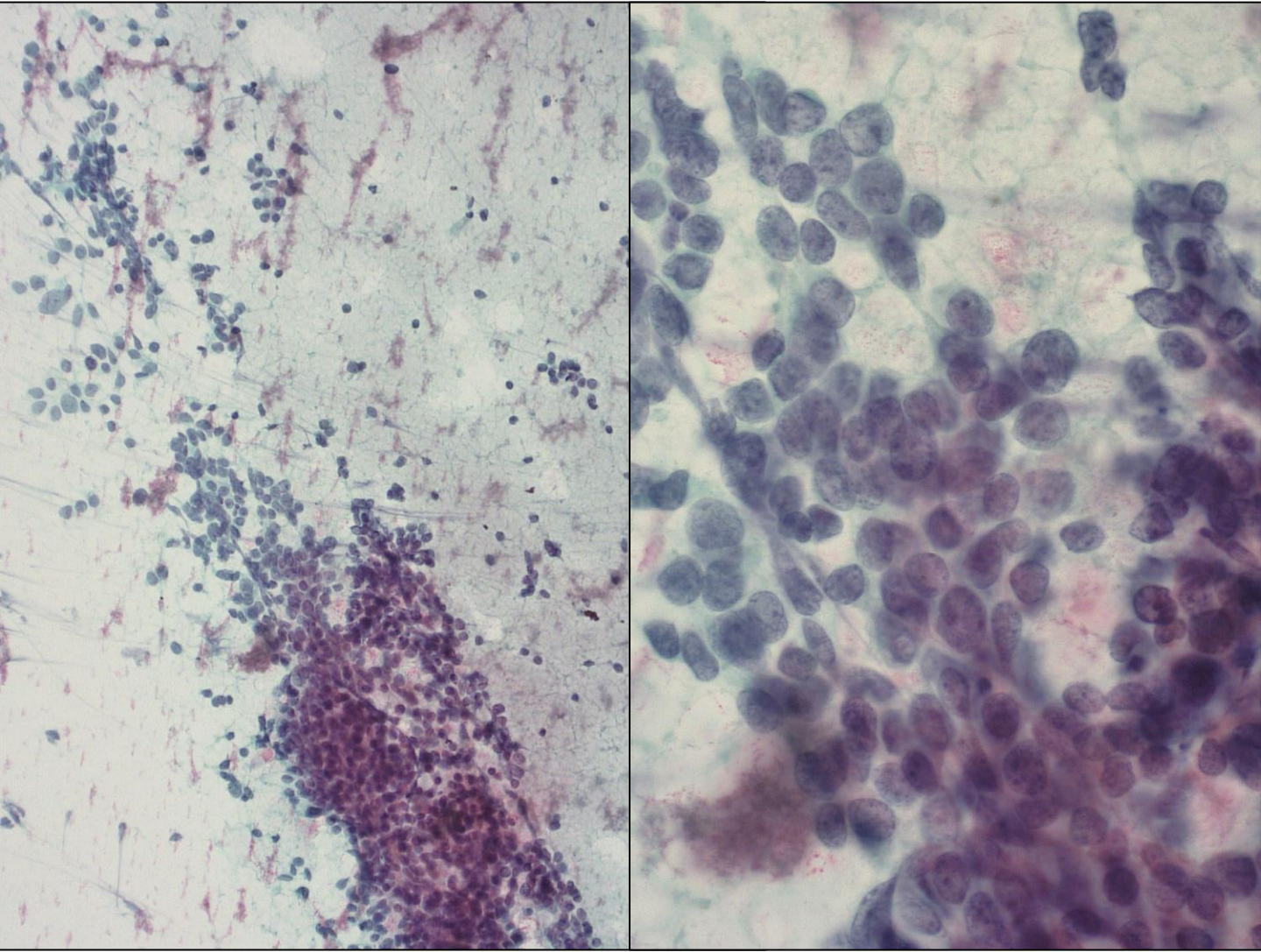
細胞診断：Small cell carcinoma（小細胞癌）

生検診断：Small cell carcinoma（小細胞癌）

ポイント

- ・ 木目込み細工様細胞配列,鋳型形成,molding,一列縦隊indian file配列
- ・ 細胞は小型で中型リンパ球大
- ・ N/C比は高く裸核状に見える

呼吸器症例⑧70代男性（気管支擦過）



細胞所見：

・細胞境界は不明瞭で、核のクロマチンは微細顆粒状で核小体は目立たない 核の相互圧排像を認める

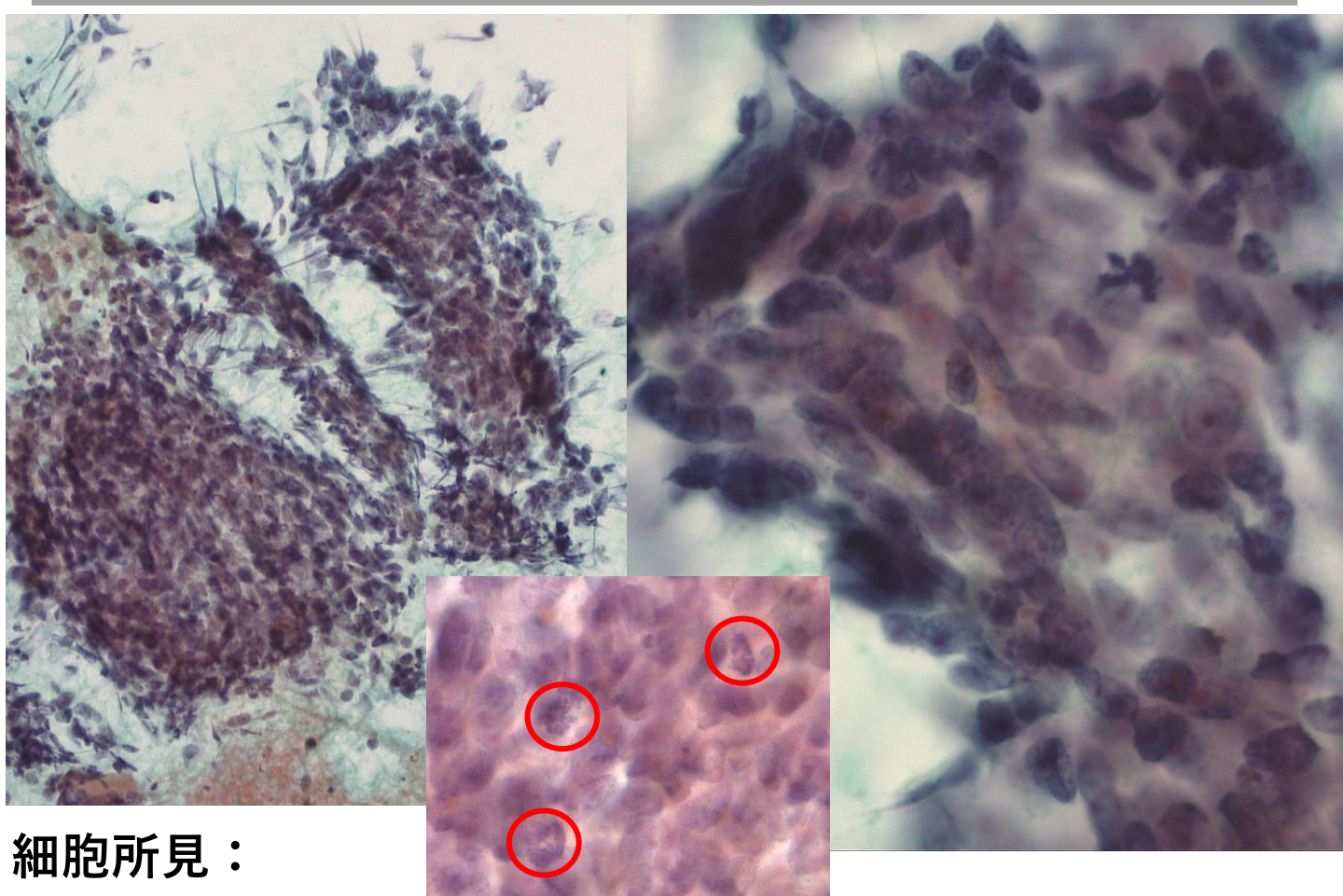
細胞診断：Small cell carcinoma（小細胞癌）

生検診断：Small cell carcinoma（小細胞癌）

ポイント

- ・クロマチンは微細顆粒状、ときに融解状、核内に充満する（淡染のものに濃染が混在）
- ・核縁は特徴的で薄い
- ・核小体は小型で2～3個みられるが目立たない
- ・核が崩壊しやすく、核線を生じることがしばしば

呼吸器症例⑨70代男性（気管支擦過）



細胞所見：

- ・ 集塊内に核分裂像 ○ がみられる・核線が目立つ・大きさは比較的大きく、鋳型状などの神経内分泌への分化が示唆される

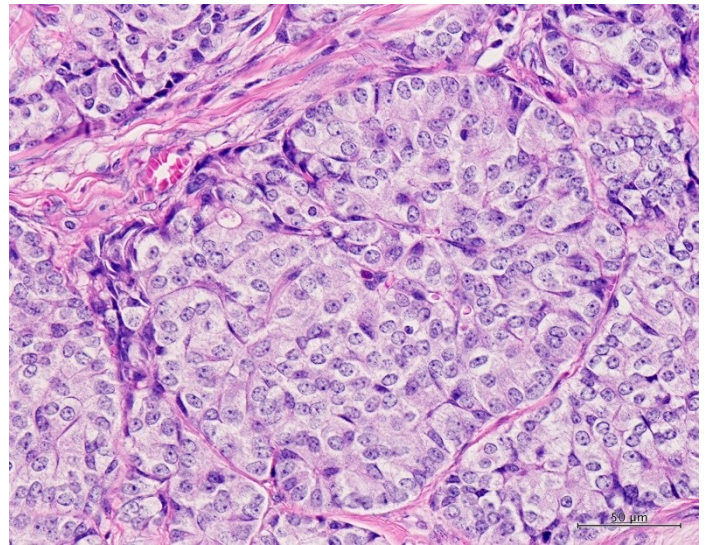
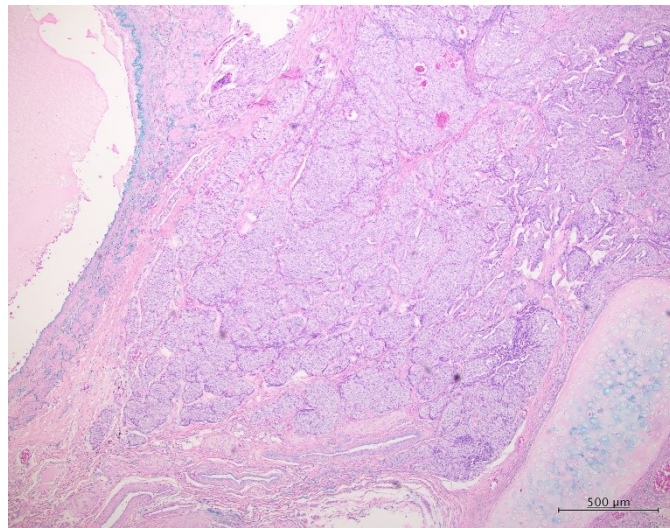
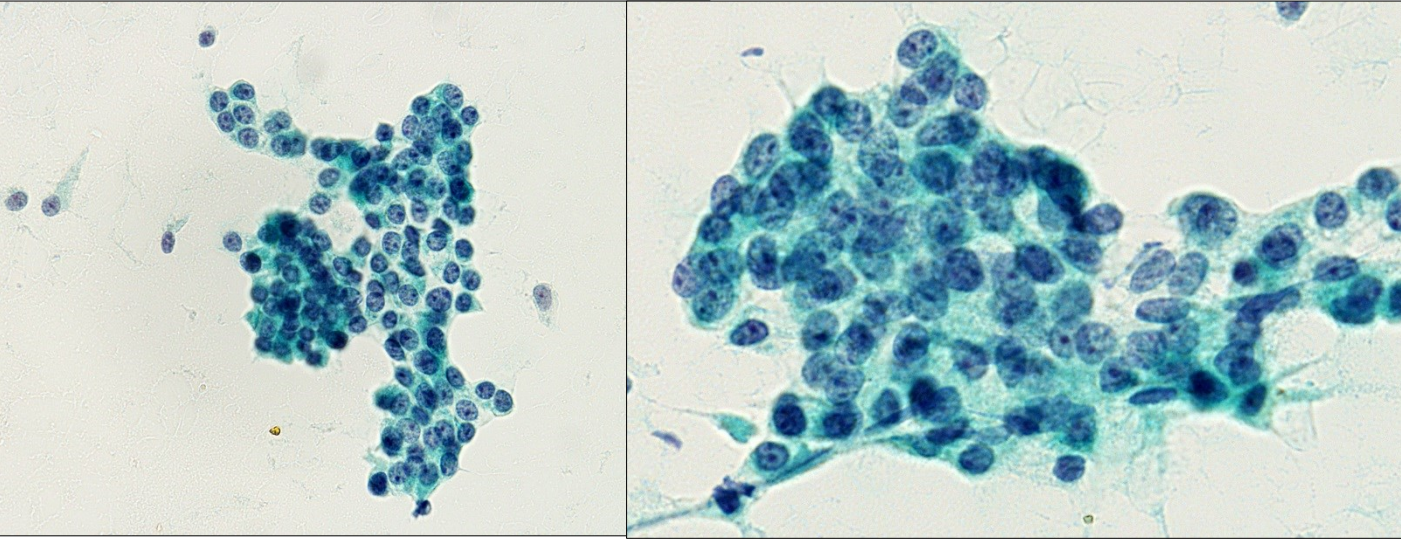
細胞診断：Large cell neuroendocrine carcinoma (LCNEC)

最終診断：Large cell neuroendocrine carcinoma (LCNEC)

ポイント

- ・ 背景は壊死性で、核線、核濃縮細胞がみられる
- ・ 腫瘍細胞は平面的あるいは立体的細胞集団として出現し、ロゼット構造、鋳型状に対細胞の形成を認めるが、孤立性細胞もみられる
- ・ 腫瘍細胞の大きさは中等度から大型、形状は類円形あるいは多角形で、多形性がみられる・明瞭な細胞質を有する細胞も見られるが裸核状細胞も観察されることがしばしばである・核分裂像がみられる・核は大小不同があり、核形は円形、類円形、多角形であり、核縁は薄く均一、クロマチンは細顆粒状あるいは粗顆粒状である・核小体は1個もしくは数個認めるが不明瞭な細胞もある

呼吸器症例 10



細胞所見：

- ・核は類円形で均一な形態、平面的配列
- ・核クロマチンは微細顆粒状（所謂 ごましお状）
- ・一部にロゼット様配列

ポイント

- ・腺癌細胞に比べると多形性を示さない（異型が弱い）
- ・胞体（細胞質）が淡く、乏しい

組織診断：Atypical carcinoid tumor